

# 競 技 注 意 事 項

## 1 競技規則について

本大会は、2016年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2 練習会場等について

- (1) 練習は、プログラム記載(P. 45)の指定された会場で、練習会場使用日程表に従い実施すること。
- (2) 主競技場内での練習は、競技役員の指示で、その他の会場については、練習会場系の指示に従うこと。特に、投てき練習については、監督の付き添いのもと事故防止に努めること。

## 3 競技場について

- (1) 競技場の競走路および助走路は全天候舗装である。
- (2) スパイクシューズのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。これらのピンの直径は、少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合し、数は11本以内とする。

## 4 招集について

- (1) 招集所は第4ゲート外側に設ける。
- (2) 招集開始時刻（点呼開始時刻）及び招集完了時刻（移動開始時刻）は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。種目別招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照のこと。

		予選									
		100m 200m 100mH 110mH			400m 800m 400mH			1500m			
		組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	
ト ラ ッ ク		1,2,3	30分前	20分前	1,2,3	30分前	20分前	1	30分前	20分前	
		4,5,6	15分前	5分前	4,5,6	15分前	5分前	2	20分前	10分前	
		7,8	0分前	10分過	7,8	0分前	10分過	3	10分前	0分前	
								4	0分前	10分過	
			3000m 5000m			3000mSC			5000mW		
		組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	
		1	30分前	20分前	1	30分前	20分前	1	30分前	20分前	
		2	15分前	5分前	2	15分前	5分前	2	15分過	25分過	
		3	0分前	10分過	3	0分前	10分過				
					4	15分過	25分過				
			4×100mR			4×400mR					
		組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了				
		1,2,3	35分前	20分前	1,2	35分前	20分前				
		4,5,6	20分前	5分前	3,4	15分前	0分前				
		7,8	5分前	10分過	5,6	5分過	20分過				
					7,8	25分過	40分過				
			準決勝				決勝				
		組	招集開始		招集完了		招集開始		招集完了		
		1,2	30分前		20分前		30分前		20分前		
		3	20分前		10分前						
混 成 競 技		トラック				フィールド					
	組	招集開始		招集完了		招集開始		招集完了			
	1,2,3	30分前		20分前		50分前		40分前			
	4,5	20分前		10分前							

	種目	予選		決勝	
		招集開始	招集完了	招集開始	招集完了
フ ィ ー ル ド	走 高 跳	70分前	55分前	50分前	40分前
	棒 高 跳	135分前	120分前	90分前	80分前
	走 幅 跳	70分前	55分前	50分前	40分前
	三 段 跳	70分前	55分前	50分前	40分前
	砲 丸 投	60分前	45分前	40分前	30分前
	円 盤 投	60分前	45分前	50分前	40分前
	ハンマー投	70分前	55分前	50分前	40分前
	や り 投	70分前	55分前	50分前	40分前

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。

(4) 招集の手順

(ア) 競技者は、前記(2)に示した招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際、ナンバーカード・競技用靴・衣類・持ち物等の点検を受けること。

(イ) 携帯端末およびトランシーバー、その他外部と連絡可能な電子機器類、ならびにビデオ・ラジオCD・MD等の機器の競技場内への持ち込みを禁止します。あらかじめ学校関係者に預けておくこと。招集所や競技場でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり、競技終了後に返却する。

(競技規則第144条3(b)に該当。)

(ウ) 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

(エ) 代理人による招集の最終確認は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻前までに2種目同時出場届を招集所に提出すること。なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場所へ移動し、担当競技役員に申し出ること。また、フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前、当該競技役員にその旨を申し出ること。

(競技規則第142条3を確認するため。)

(オ) リレー種目について

① オーダー用紙は各ラウンドごとにあらかじめ招集所に取りに行くこと。

② 招集所で受け取ったオーダー用紙に必要事項を記入し、各ラウンドともその種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに、競技者係(招集所)に提出すること。また、準決勝・決勝においても、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに提出すること。

(カ) 出場種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに棄権届を招集所に提出すること。

(キ) 混成競技の招集は、第1日及び第2日の最初の種目については、前記の招集時刻一覧表のとおり招集所で行う。2種目以降は、混成競技者控所で確認を受け、当該競技役員の指示に従うこと。

## 5 競技について

(1) 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることができない。

(2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。

(3) トラック競技は、800m以下の種目及びリレー種目の予選を9レーンで実施する。準決勝、決勝は2レーンより使用する。

(4) トラック競技では、すべて写真判定装置(全自動電気計時)を使用する。

(5) 競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。

(6) スターターの合図は英語とする。「On your marks」、「Set」

(7) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても本競技会のリレーまたは他の種目に申し込んである競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り他の競技者と交代できる。また、リレー競技に出場するチームは、同一のユニフォームで参加しなければならない。

(8) 4×100mRの第2・第3・第4走者は、主催者が用意するマーカー(1個)を使用することができる。マーカーは、出発係が現地で渡し、そのマーカー以外は使用してはならない。

(9) 4×400mRの第3・第4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ通過順に内側より並んで行うこと。コーナートップの地点は、200mスタート地点内側に設置された黄旗で示される。

(10) 5000m、3000m、5000mWは、グループスタートで実施する。

(11) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2ヵ所置くことができる。サークルから行う投てき競技では、

マーカーを1カ所だけ置くことができる。そのマーカーは、サークルの直後あるいはサークルに接して置くこと。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

- (12) 棒高跳の競技者は、支柱移動申請書を招集所で受け取り、自分の希望する支柱（アップライト）の位置を記入し、招集所に提出すること。提出された支柱移動申請書は、招集所の担当競技役員が現地まで持って行く。また、その位置を変更したいときは、跳躍競技役員に申し出ること。なお、公式練習は、バーかけ練習（ゴムバー）2回とする。
- (13) 三段跳の踏切板は、予選・決勝とも13m地点に設置する。
- (14) 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、助言については、競技運営及び他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認めるものとする。陸連ルールの改正に伴い、ビデオ等による助言は認める。ただし、競技者が視聴可能なコーチングエリア内とする。また、吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため当該競技エリアから離脱する行為、文書をもって連絡することは認めない。なお、健康上の理由により選手に物品を渡す必要がある場合についてのみ、マーシャルその他の競技役員を通じて物品を渡すことができる。
- (15) フィールド競技の予選については、競技進行上、手拍子等の応援を禁止する。
- (16) 練習跳躍を除き、踏切位置を当該競技者に示さないこととする。
- (17) フィールド競技の公式練習は2回とする。
- (18) 提出書類は、下記のとおりとする。

	提出書類	提出先	提出時間
1	棄権届	招集所	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届	招集所	第一種目の招集開始時刻まで
3	リレーオーダー用紙	招集所	各種目第1組招集完了時刻の1時間前まで
4	棒高跳支柱移動申請書	招集所	招集開始時間に
5	用器具検査申請書	T I C	招集開始時刻までに
6	抗議申し立て (口頭)	T I C	正式記録発表後(予選・準決勝) 15分まで 正式記録発表後(決勝) 30分まで
7	上訴申立書 (文書)	T I C	審判長公式裁定後(予選・準決勝) 15分まで 審判長公式裁定後(決勝) 30分まで
8	記録証交付願	T I C	競技終了後随時
9	プログラム訂正届	T I C	7月28日は16時00分まで 7月29日～8月2日は8時45分まで

※T I C（テクニカル・インフォメーション・センターの略）

## 6 抗議について(競技規則146条による)

- (1) 競技中におきた競技者の結果または行為に関する抗議は、各都道府県監督または当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）に、審判長に対して口頭でなされなければならない。（大型スクリーン表示終了時刻を基準とする。）抗議者はT I Cを通して抗議担当総務員に申し出ること。
- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上告する場合は、上訴申立書（T I Cに用意）に必要事項を記入し、預託金10,000円を添えて申し出ること。

## 7 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは配布された大きさのものをユニフォームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。また、トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、左右後方につけること。ただし、リレー競技については4×100mRは第4走者のみ左右後方に、4×400mRは第2と第3走者は右側に第4走者は左右後方につけること。
- (2) 3000m、5000m、5000mWの予選・決勝とも、胸背部に別ナンバーカードを使用するので出場者は、競技開始1時間前までに招集所へ別ナンバーカードを受け取りに来ること。その際、正規ナンバーカードを持参すること。
- (3) 男女とも、混成競技の最終種目では、総合順位の高いものから順番に、統一した別ナンバーカード（胸部のみ）を使用する。別ナンバーカードは、混成競技係より配付する。

## 8 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合について

- (1) 日本陸上競技連盟広告規程を適用する。
- (2) 飲料水については、協賛社以外のメーカーのものは、規定を超える商標名が明示された状態で持ち

込むことはできない。

- (3) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

### 9 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技のレーン順及び跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝については、主催者がルールに則り組み合わせ、レーン順を決定する。フィールド競技（走高跳・棒高跳を除く）の決勝については、3回の試技で上位8人を選出し、記録した成績の低い順に、後3回の試技をする。トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順と、フィールド競技で予選を行った場合の決勝の試技順は、主競技場正面北側と補助競技場出入口付近に掲示する。
- (3) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同成績者が出たときは、下記の方法で決定する。
- (ア) 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同成績者については、レーンに余裕がある限り次のラウンドへ進むことができる。レーンが不足する場合は、同成績者または代理人によって抽選する。なお、アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人がTICに来なかった場合は、主催者が代行する。
- (イ) 1500m・3000m・5000m・3000mSC・5000mWの同成績者は、次のラウンドに進むことができる。

### 10 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やりについては、通知した競技場備え付けの投てき用器具リストに無いものと、1個しかないものに限り、当日検査の上使用を認める。希望者は招集開始時刻20分前から招集開始時刻まで（混成競技は競技開始の60分前まで）に、TICで「用器具検査申請書」により申し出ること。ただし、検査に合格した用器具については、「預り証」を発行のうえ一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げた用器具は、競技終了後にTICで返却する。
- (2) 練習用の個人の用具は、競技場内に持ち込んで서는ならない。
- (3) 競技場に備え付けの投てき用具は、プログラム記載（P.57）のとおりである。

### 11 記録表示について

- (1) ○ 日本高校記録 …… 白地に赤高体連マーク入り標識
- (2) ◎ 大会記録 …… 黄色に黒三角マーク入り標識
- (3) ● 予選通過標準記録 …… 黄色のライン又は黄色の標識

### 12 予選通過標準記録

	走高跳	棒高跳	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男子	2m03	4m80	7m25	14m70	15m40	44m00	57m00	61m50
女子	1m69		5m80		12m70	39m50		45m50

- (1) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
- (2) 予選通過標準記録を超えた競技者が12名に満たなかった場合は、上位12名まで決勝に進出させる。
- 12番目に同じ記録の競技者がいた場合は、下記の方法で決定する。
- (ア) 走高跳・棒高跳の場合
- (a) 同記録になった高さで、試技数の最も少なかった競技者。  
上記(a)でも決まらない時は、下記(b)を適用する。
- (b) 同記録を生じた高さまでの試技数のうち、無効試技数が最も少なかった競技者。  
上記(b)でも決まらない時は、複数名が決勝に進出できる。
- (イ) その他フィールド競技の場合  
同記録となった競技者の2番目の記録で順位を決める。それでも決められないときは3番目の記録で決める。

### 13 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

男子走高跳	予選	1 m 9 0 (練習)	1 m 9 5	2 m 0 0	2 m 0 3
	決勝	1 m 9 0・2 m 0 5 (練習) 1 m 9 8 2 m 0 1 以降 3 c m			
女子走高跳	予選	1 m 6 0 (練習)	1 m 6 3	1 m 6 6	1 m 6 9
	決勝	1 m 6 0・1 m 7 0 (練習) 1 m 6 5 1 m 6 8 以降 3 c m			
棒高跳	予選	4 m 5 0・7 0 (練習)	4 m 6 0	4 m 7 0	4 m 8 0
	決勝	4 m 6 0・8 0 (練習) 4 m 7 0 4 m 8 0 以降 5 c m			

- (1) 走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり優勝者が決定するまで上記の上げ方とする。
- (2) 第1位が同成績の場合における順位決定のバーの上げ下げは、走高跳2 c m、棒高跳5 c mとする。

男子八種 走高跳	練習	1 m 4 5	1 m 6 0	1 m 8 5		
	競技	1 m 5 0 1 m 7 5	1 m 5 5 1 m 8 0	1 m 6 0 1 m 8 5	1 m 6 5 以降 3 c m	1 m 7 0
女子七種 走高跳	練習	1 m 2 5	1 m 4 0	1 m 5 5		
	競技	1 m 3 0 1 m 5 5	1 m 3 5 以降 3 c m	1 m 4 0	1 m 4 5	1 m 5 0

### 14 競技場への入退場について

- (1) 全ての競技者の入退場は、当該競技役員の指示に従うこと。
- (2) 衣類は、第1ゲートのミックスゾーンに係員が運搬する。4×100 m R 出場者の衣類は、アンカーのみミックスゾーンまで運搬する。

### 15 表彰及びインタビューについて

- (1) 各種目8位までの入賞者は、競技用ユニフォーム（下半身はジャージ等の着用可）で表彰を受けること。その際、入賞者控所で待機し、入賞管理係の指示を受けること。また、優勝者の学校の部旗を掲揚するので、ただちにT I Cに持参すること。部旗がない場合は、高体連旗を掲揚する。
- (2) フィールド競技の入賞者及びトラック競技の入賞者は、入賞管理係の誘導でミックスゾーンを通りインタビュー室に移動し、インタビュー終了後は入賞管理係の誘導で入賞者控所に移動する。
- (3) 入賞者の得点は、1位8点・2位7点・3位6点・4位5点・5位4点・6位3点・7位2点・8位1点とする。
- (4) 総合の部は男・女それぞれ1位～8位まで、トラック・フィールドの部は、男・女それぞれ3位まで表彰する。なお、総合優勝校は部旗を掲揚するので、T I Cに部旗を持参すること。
- (5) 男子・女子それぞれ最優秀選手を表彰する。
- (6) 男子・女子それぞれ総合優勝校監督を表彰する。

### 16 その他

- (1) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、主競技場内の救護室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (2) 更衣室は、補助競技場内に男女更衣室がある。更衣目的にのみ使用し、荷物は各自で管理すること。万一の場合があっても責任は負わない。
- (3) 記録証の交付を希望する競技者は、T I Cに記録証交付願を提出し、交付料金500円を添えて申し込むこと。
- (4) デイリーリザルトは、インターネット（全国高体連ホームページ）上で確認できる。大会終了後、各都道府県に記録集（電子データ）を送付する。
- (5) 各都道府県監督及び競技者宛の電報や遺失物は、大会庶務係で一括し、各都道府県総監督（または代理）を通じて本人に渡す。
- (6) 記録は、記録掲示板（主競技場Bゲート南側と補助競技場入口付近）に掲示する。
- (7) 主競技場内の横断幕・のぼり旗の掲揚については、事前に入場順の抽選を行い、横断幕1校1枚をメインスタンドの最上部、バックスタンドの最上部に通路をふさがないように括りつけること。のぼり旗は、1校2本以内とし、上記の各スタンド最上部のフェンスに括りつけること。掲揚ポールの使用は禁止。個人名入りの横断幕等も禁止する。なお、掲揚場所が少ないため、入場順が後ろになると設置できないことがある。
- (8) 各学校のテントは、許可区域以外に張らないこと。

- (9) 棒高跳のポールとやりの送り先は下記宛とし、下記に示している期日・時間帯を指定すること。  
送り先 〒700-0012 岡山県岡山市北区いずみ町2-1-11 シティライトスタジアム 気付  
TEL 086-253-3950 FAX 086-256-7533  
受付日時 7月26日(火) 10:00~16:00 (時間指定はこの時間内で)  
7月27日(水) 10:00~16:00 (時間指定はこの時間内で)  
※送付された棒高跳のポールは、陸上競技場北側ウオーミングアップ室内に保管しているので、使用する際は、練習会場係に申し出ること。  
※返送方法については、T I C付近に宅配幹旋業者の窓口を設けるので、各自の責任で返送手続きを取ること。
- (10) 集団応援は他の競技に支障のないようにすること。  
(ア) 競技の妨げとなる応援は禁止する。  
(イ) メイン・サイドスタンドでの集団応援を禁止する。  
(ウ) バックスタンドでの集団応援は中段以上とし、各競技に配慮すること。  
(エ) 障害者用観覧席を本来の目的以外に使用すること(観戦・休憩)は禁止する。
- (11) 個人情報の取り扱いに関して  
(ア) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはない。  
(イ) 参加申込書(様式2)の提出により、上記(ア)の取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・学校名・学年・都道府県名・記録の紹介や掲示板に掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表する。また、入賞者に対しては、インタビュー室でのインタビューがあり、その他競技場外で取材を受けることがある。  
(ウ) 本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページ等で公開されることがある。  
(エ) 本大会が認めた報道機関が撮影した映像が、中継・録画放送されることがある。
- (12) 競技者及び監督には、競技会申し合わせにより I Dカードが渡される。I Dカードで行動できる範囲は、補助競技場、投てき練習場、雨天練習場及び武道館(選手控室)とする。競技者は、競技出場時のみ本競技場内に入ることができる。I Dカード使用者は、各場内を移動する場合は、必ず I Dカードが確認できるように携帯すること。